

令和4年度

学校関係者評価書(前期)

南アルプス市立芦安中学校

芦安小中学校 学校関係者評価書(前期)

令和4年8月26日(金)

芦安中学区学校運営協議会作成

第1回芦安地区学校関係者評価委員会(第2回芦安中学区学校運営協議会)

実施日:令和4年8月26日(金)

会場:南アルプス市立芦安中学校 多目的室

〈芦安中学区学校運営協議会委員〉

会 長	名取 昭彦(元芦安小学校・校長)
副会長	和田 真実(芦安小中学校PTA会長)
委 員	有野 敏也(南アルプス市みんなで支える芦安協議会代表)
委 員	伊東 隆雅(芦安地区保護司)
委 員	金川 健太(芦安小中学校PTA副会長)
委 員	倉園 光代(主任児童委員)
委 員	清水 准一(NPO法人芦安ファンクラブ会長)
委 員	清水 実(芦安子を守る会会長)
委 員	塚原 利幸(芦安窓口サービスセンター長)
委 員	名取 大介(学校応援団コーディネーター)
委 員	森本 章雄(芦安地区学校応援団代表)

〈学校職員〉

小学校	古屋 雅章(芦安小校長)
	河野 太郎(芦安小教頭)
中学校	小林 雅人(芦安中校長 芦安地区学校運営協議会委員)
	深澤 和博(芦安中教頭)

〈助言者〉

南アルプス市教育委員会	横小路 亮(学校教育課指導監)
	清水 洋孝(学校教育課指導主事)

1. 学校側からの提案した内容

- ① 学校評価の方法について
- ② 評価の全体的な傾向について
- ③ 今後の学校経営・運営について
- ④ 学校安全・学校防災について

2. 検討していただいた主な内容

- ① 各項目の評価・達成状況・改善策について
- ② 芦安地区の防災(土砂災害時の対応)について
- ③ 芦安地区の教育のあり方について

3. 学校への意見・要望・感想等<小中>

- ①宿題・長期休業中の課題について
 - ・長期休業中の課題の量を考えてほしい。→ こまめに(計画的に)宿題を出してほしい。
 - ・自己肯定感を高める取り組みにしてほしい。
 - ・何のために宿題や課題をやっているのかを児童生徒と教職員が共有することが大切。
- ②土砂災害発生時の対応について
 - ・芦安地区には安全と言える場所はないと考え、授業切り上げ・休校等を早めに判断をする。
 - ・途中の道路が決壊する可能性もある。夜の行動はしない。非常食の確保も大切。
 - ・芦安支所が安全かもしれない。(避難訓練では3階の「音楽室」を避難場所としている。)
- ③学校運営協議会の持ち方について
 - ・今回は都合により欠席した委員の方もいたので、より多くの委員が参加できるように、次の開催日程の周知と開催方法の工夫を考えたい。
- ④学校説明会について
 - ・説明会用のチラシの内容と配布時期の確認。
 - ・「芦安小中入学のきまり」の内容について、市教委・学校・保護者間での共有が必要。個別対応が必要な場面もある。(市教委とも連携して対応していく)
 - ・説明会後の面接が厳しいので、和やかな雰囲気を実施してほしい。
- ⑤英語教育について
 - ・英語教育の推進に関しては市教委も考えている。
- ⑥ICT機器の活用について
 - ・ドリルアプリやデジタル教科書の活用やクロームブックの持ち帰り等をさらに進めていく。

4. 分析・評価

- 自己評価に関して学校運営協議会委員の方々から得られた指導・助言・感想等を真摯に受け止め、1つ1つの項目について児童生徒の実態を踏まえて具体的な手立てを講じながら学校運営の工夫・改善を行うとともに、学校教育目標の実現に向けて「芦安郷育」及び「小中一貫教育」をさらに推し進めていきたい。
- 今年度は、校内研究のサブテーマを“ICTを効果的に活用した授業づくり”とし、これまでの実践にICTを組み合わせ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させ、児童生徒にとって「楽しい授業」「わかる授業」を実現していきたい。

○家庭学習については、家庭学習と授業との有機的な結びつきを意識した授業づくりに取り組み、宿題から自主学習へと発展できるように、「芦安小中・家庭学習の手引き」や県教育委員会作成の「学びの甲斐善八か条」も活用しながら「主体的な学び」を目指し指導していきたい。

○子どもたちの人間関係づくりに不安を抱いている児童・生徒・保護者が一部いることを踏まえ、生徒一人ひとりとの対話を大切にし、コミュニケーションを積極的に行うことで児童生徒理解に努めていきたい。また、不登校傾向による別室指導が必要な児童生徒や教室で落ち着いて授業が受けられない児童生徒に対して、職員全員で常に情報共有しながら丁寧に対応すると同時に、今後も継続してスクールカウンセラー等の専門家に指導・助言をあおぎ、日々の微妙な変化の見取りを大切にしながら、よりきめ細かい対応をしていきたい。

○地域や保護者との日常の対話を大切にしながら、家庭訪問・面談・電話連絡・アンケート等で、学校への意見や要望等の吸い上げを積極的に行って学校運営に生かすと同時に、学校ホームページや学校だより・学年だより等で定期的に学校の教育活動の情報発信を行い、その都度必要な情報をメールや電話(地域には回覧板)等を使って連絡を取り合いながら、今後も継続した連携に向けて情報共有を図っていきたい。

○コロナ禍でありながらも、芦安小中学校の特色である自然体験活動として、これまで学校林整備・自然パトロール・自然学習・全校登山等の活動を計画的に仕組むことができおり、今後も活動が充実するように引き続き関係団体と連携しながらさらに工夫・改善を図っていきたい。

○新型コロナウイルス感染症の感染状況が気になるが、感染防止対策をとりながらも、「コロナに負けない芦安郷育」を推進していきたい。